山本小学校だより

令和４年１２月２２日
No.１２
文責　藤髙　ちよ

明日は２学期終業式です！

明日は２学期の終業式でいよいよ冬休みがはじまります。終業式には子供たちに以下の話をします。

２学期を振り返って、みなさんはどんな２学期を過ごしましたか。楽しく、そして自分に挑戦し、できることを増やした２学期になったでしょうか？

２学期の始業式の日、みなさんに、校長先生が、逆上がりができるようになった時のことを話しました。逆上がりができるようになったのは、友達が応援してくれたり、できるようになる方法をアドバイスしてくれたり、できるようになるまで一緒に練習してくれたからであることを紹介し、山本小みんなの２学期の目標は、

「友達といっしょに、難しいことに挑戦して、粘り強く頑張る」

と話しました。

２学期を振り返ってみて、みなさんの姿がこのように輝いていたと感じたことで、一番に思い浮かぶのは心かがやけ月間の取組です。道徳の授業で、「感謝する心」「郷土を愛する心」「命を大切にする心」そして「思いやりの心」などについて各学年で学びました。また１２月には人権学習もありました。一人一人がよく考え、友達の考えを聞いて、もう一度自分の考えを見つめ直す姿があり、本当に粘り強く考えを深めていたと思います。

紹介すると３年生では「いつもありがとう」の学習を通して、自分の気持ちを伝えることについて考えていました。その中で「友達とけんかした後に、自分が反省したとしても、その自分の気持ちを伝えないとけんかした相手はわかってくれない」「あいさつなど、自分の気持ちを伝えるためには言葉が大切だと思う」と気持ちを言葉にして伝えようとする気持ちを高めていました。また、６年生では「住所は書かないで」の学習を通して、人権について考えました。「差別をなくすために間違っていることはきちんと伝えて差別をなくしたいです。わからないことはきちんと聞いたり、調べたりもしたいと思いました。差別をなくすためにいろいろと行動したいです」と自分が大切であるように他の人も大切で、差別をなくすために強い心をもって、考えたり、わからないことは調べたり、自分で判断して行動できる人になりたいと考えを深めてくれました。その他の学年も、故郷山本のよさを考えたり、妹の誕生を通して命の尊さについて考えたり、親切にすることのよろこびについて考えたりなど、自分自身の気持ちを見つめながら、友達の考えも聞き、自分の考えと比べたりしながらさらに考えを深め、自分は今後どんなふうに行動したり生活したりしたらよいかにつないでおり、とてもすばらしかったと思いました。

また、登校班でのあいさつ運動や、委員会活動を中心に、学校中に挨拶を広げるあいさつの木の取組や、次の人のことを思い並べるあっかスリッパ並べ、山本カップやしおりコンクール、花壇の手入れなど、自分たちで学校を明るくしよう、元気にしよう、思いやりの心を大切にみんなが過ごしやすく楽しい学校にしようと友達と一緒に、自分たちの学校生活を捉え、自分たちにできることを考え計画し、行動してくれたことが本当に素晴らしかったと思いました。目と目を合わせて、笑顔で立ち止まって挨拶もできる人がどんどん増えました。

また、２学期には見学旅行や宿泊教室、修学旅行がありました。授業を通して調べたことや学んだことを実際に目で見て、触れて、体験したことで、新しい発見や気づきがあったり、それらの発見や気づきから、友達同士意見を交流することでさらに考えや思いを深めたり、班での活動を通して、協力することの大切さを学ぶことができたりしたように感じました。そして、一人では難しいことにも、友達と協力し取り組んだことで、できたこともたくさんありました。

一人一人が自分自身に挑戦し、頑張るとともに仲間と協力し自分たちでできることを考えて、精いっぱい努力できたと思います。そして、みんなで楽しい学校になるよう協力できたことをうれしく思います。これからも、さらに楽しくなるために、自分には何ができるのかな、友達と協力するとどんなことができるようになるのかなど、しっかり考えて山本小学校をさらによくするために、粘り強く行動にうつしていけるみんなになってほしいと思います。

明日から冬休みに入ります。冬休みの間に新しい年も迎えます。素晴らしい１年を始めることができるよう、まずは今年の振り返りをして、さらにみなさん一人一人が輝くように新しい目標も立ててほしいと思います。

冬休みは家庭や地域で過ごします。交通事故等に注意して安全にそしていのちをたいせつに過ごしてください。ご家庭でもお声かけをお願いします。また、学校生活のことで心配なことは、ご連絡ください。（学校：２７２－０８３９）